

新たなブランド農産物の創出

- ・ ルビーロマン(ぶどう)、エアリーフローラ(フリージア)、越後姫(いちご)、越のルビー(トマト)などブランド農産物の生産が拡大中。

ルビーロマン

「ルビーロマン」は、石川県農業総合研究センター砂丘地農業試験場が平成7年から14年の歳月を費やして育成し、平成20年にデビューした新品種のぶどう。巨峰の約2倍の大きさになり、鮮やかな紅色に色づく赤色大粒ぶどう。

誕生間もない「ルビーロマン」、品質に一層の磨きをかけて石川県のオリジナル品種として成長するよう全農いしかわ、ルビーロマン研究会、県が一体となって生産拡大に取り組んでいる。



エアリーフローラ

石川県が育成したフリージアの新品種「エアリーフローラ」。石川県農業総合研究センターが平成16年から8年の歳月をかけて7色を育成したもので、平成24年2月に市場デビューした。

この品種は多彩な色合いがそろい、パステル系の薄い紫やピンクなど、日本で好まれる中間色の花を咲かせるのが特長で、従来のフリージアの1.5倍の値がつくなど、県外の関係者からも大いに注目されている。



越後姫

「越後姫」は何よりも香りが高く甘く、粒も大きいことが特徴。

新潟県の園芸研究センターで昭和63年から6年かけて育成された品種で、「可憐でみずみずしい新潟のお姫様のような」との評価から、平成6年に「越後姫」と命名され市場デビューした。

より甘く、より豊かな香りでよりおいしくすることを目標に育種された。冬が寒く、春の日照が多い新潟県の気象条件下に適した品種。



越のルビー

「越のルビー」は昭和62年に福井県立短期大学で育成された品種で、大玉トマトとミニトマトの中間の大きさのミディトマト。

大玉トマトに比べてビタミンCが約2倍も含まれ、糖度も2~3度高く、程よい酸味と甘さを兼ね備えたフルーツ感覚のトマトで、生果以外にもジュースやドレッシングなどの加工品も販売されている。

